

補修工事の内容を見学

小舟渡橋と宮前川鉄道橋

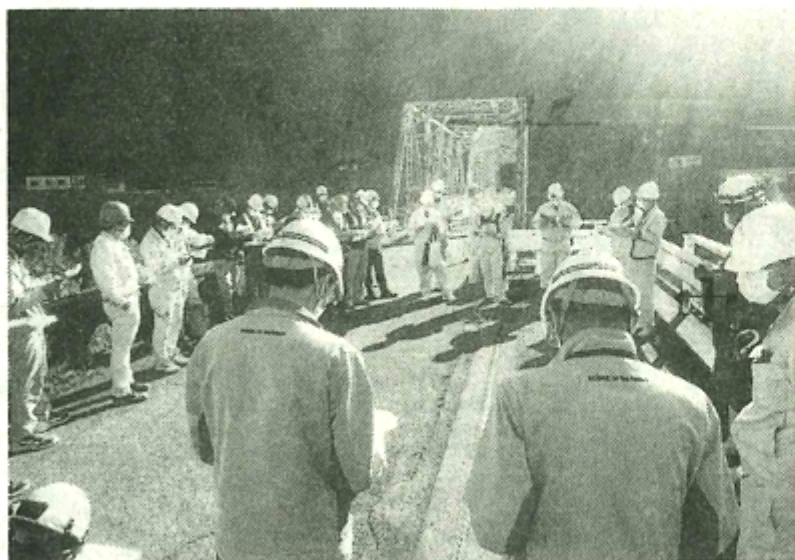
県コンクリート診断士会

福井県コンクリート診断士会（山川博樹会長）は13日、第114回の研修会「小舟渡橋&宮前川鉄道橋」の現場見学会を開催した。写真。

小舟渡橋は、県管理の橋梁中で最古。補修工事の発注は県奥越土木事務所と、えちぜん鉄道。施

工は、森景組と関組。県奥越土木事務所所の竹内氏と、福尾氏が説明。宮前川鉄道橋の補修工事も見

学。県交通まちづくり課の出口氏が説明した。賛助会員のM・T技研の小林氏がASR簡易判定



法ゲルステイン法を、事前採取のコアサンプルを用い、試験実演。同会は、全国初の地域鉄道との技術支援協定を進め、今研修が役割の重要性を再認識する有意義な見学会（山川会長）となった。